

# 参 考 資 料

I	徳島県公共事業評価委員会開催状況 .....	1
II	対象事業一覧表	
	平成20年度 対象事業	
	・農林水産部（再評価） .....	2
	かんがい排水事業	
	畑地帯総合整備事業	
	地盤沈下対策事業	
	海岸環境整備事業	
	林道開設事業	
	地すべり防止事業	
	海岸保全施設整備事業	
	・県土整備部（再評価） .....	9
	道路改築事業	
	街路事業	
	広域基幹河川改修事業	
	総合流域防災事業	
	海岸侵食対策事業	
	地すべり対策事業	
	流域下水道事業	
	港湾改修事業	
	都市公園事業(市町村事業)	
	公共下水道事業(市町村事業)	
III	徳島県公共事業評価委員会名簿 .....	13

## I 徳島県公共事業評価委員会開催状況（平成20年度）

### ○第1回

日時：平成20年11月10日（月）13:00～17:30

出席委員：6名（村上会長、上月委員、松根委員、眞山委員、山中委員、横畠委員）

内容

会長の互選

対象事業の概要説明等

現地調査（農林水産部）

林道開設事業：川崎国見山線（三好市）

### ○第2回

日時：平成20年11月18日（火）9:30～16:30

出席委員：5名（村上会長、井関委員、上月委員、眞山委員、山中委員）

内容

県土整備部所管再評価対象事業：県事業20件 の審議

現地調査（県土整備部）

海岸侵食対策事業：鳴門海岸（鳴門市）、見能林海岸（阿南市）

### ○第3回

日時：平成20年11月20日（木）9:00～12:00

出席委員：6名（村上会長、井関委員、上月委員、松根委員、山中委員、眞山委員）

内容

県土整備部所管再評価対象事業：現地調査分2件（県事業）、

農林水産部所管再評価対象事業：県事業24件、市町村事業5件 の審議

### ○第4回

日時：平成21年3月18日（水）10:00～12:15

出席委員：6名（村上会長、井関委員、上月委員、松根委員、山中委員、横畠委員）

内容

県土整備部所管再評価対象事業：県事業12件、市町村事業14件 の審議

II 平成20年度再評価対象事業一覧表（農業農村整備事業・県事業）

番号	事業名	地区区等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）		事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率 用地進捗率 (%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	受益面積 ha						
1	かんがい排水事業 上板	上板	上板町	2,457	278.0	排水路工 1,060m	H6	⑤	事業費 32% 用地 1%	本地区は、高志川周辺の低平地に位置し、洪水のたびに浸水被害を生じており、農作物に多大な影響を与えている。その要因は、老朽化した六条暗渠の通水能力不足であるため、本事業により排水条件を改良し、生産性の高い農業経営の実現を図ることとなり、地元からは事業の早期完了を強く要望されている。平成28年度完了予定。	継続
2	かんがい排水事業 菅江谷	菅江谷	美馬市	7,411	218.0	ダム工 1ヶ所 管水路工 14,284m	S55	⑤	事業費 88% 用地 1%	本地区は、曾江谷川沿岸の中山間地域にあり、古くから畑作が行われてきたが農業用水に恵まれていないため、収益性の高い畑作物の栽培が困難であった。そのため、本事業によりダムを設置し農業用水を確保することと、パイプラインによるかんかん施設を整備することとにより、収益性の高い農産物を導入し、農業経営の安定を図ることとなり、地元からは事業の早期完了を強く要望されている。平成23年度完了予定。	継続
3	畑地帯総合整備事業	里浦	鳴門市	5,434	300.0	かんかん工 300ha 排水路工 3,305m 排水機場工 2ヶ所 農道工 2,990m 暗渠排水工 85ha	H元	⑤	事業費 86% 用地 1%	本地区は、県内有数の畑地帯であり、かんよしよや大根の特産地としての地位が確立しているが、天水に頼る営農のため、干ばつ時には減産を余儀なくされている。そこで、国営事業に水源を求め、本事業によりかんかん施設等の整備を行うことにより、地元からは事業の早期完了を強く要望されている。平成21年度完了予定。	継続
4	地盤沈下対策事業	松茂	松茂町	800	80.0	用水路工 67ha 揚水機場工 2ヶ所 水路工 1,967m	H6	⑤	事業費 82% 用地 1%	本地区は、旧吉野川河口付近の右岸側に広がる農業が盛んな地域であるが、地盤沈下に伴う用水路の不均衡により農業用水の通水障害が生じている。そのため、その機能回復を図る対策工事として幹線水路及び末端用水のパイプライン化を図ることとなり、地元からは事業の早期完了を強く要望されている。平成23年度完了予定。	継続
5	海岸環境整備事業	那賀川左岸	阿南市	600	-	交流施設工 1式 海岸施設工 1式	H6	⑤	事業費 76% 用地 1%	本地区は、那賀川下流の左岸側に位置し、海岸の背後地に造成されたゴルフ場を中心に、出島野鳥公園等との一体的整備を図ることにしている。そのため、海浜部の特性を活かした健康づくりや心身のなリフレッシュができてくる空間として交流施設の整備を行うことと、現在には海岸施設の整備を推進しており、地元からは事業の早期完了を強く要望されている。平成23年度完了予定。	継続

評価対象事項の区分  
 ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所  
 ②事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所  
 ③事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所  
 ④その他の社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所  
 ⑤再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

II 平成20年度再評価対象事業一覧表（森林整備事業・県事業）

番号	事業名	路線名	市町村名	基本緒元		事業採択	経過 年数	区分	工事進捗 率(%) 用地進捗 率(%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応 方針
				区域面積・延長等 延 長 m	全体事業費 百万円						
6	林道開設事業 (森林基幹道)	おいら谷三加茂線 おいら谷三加茂線	東みよし 三好 市	2,023	5,700	S47	37	⑤	工事進捗率 76 用地進捗率 1	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等 林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で 林道の担う役割は大きい。また、旧三加茂町と旧西祖谷山村小祖 谷地区を連絡する林道であり、災害等の緊急時には迂回路として も利用できるとともに、地元からの要望は非常に強い。	継続
7	"	木屋平末京線 木屋平末京線	美馬市 那賀町	1,613	4,821	S48	36	⑤	工事進捗率 93 用地進捗率 1	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労 働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林 の公益的機能の向上が求められている。こうした状況下で、高性 能の林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図 るため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続
8	"	赤幡子線 赤幡子線	つるぎ町	1,231	2,260	S61	23	⑤	工事進捗率 49 用地進捗率 1	林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で 林道の担う役割は大きい。また、旧一宇村実平地区と旧一宇村桑 平地区を連絡する林道であり、災害等の緊急時には迂回路として も利用できるとともに、地元からの要望は非常に強い。	継続
9	"	川崎国真山線 川崎国真山線	三好市	2,717	6,400	S61	23	⑤	工事進捗率 52 用地進捗率 1	林業を取り巻く環境ならびに新森林の公益的機能の発揮につい ても林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上 で林道の担う役割は大きい。また、旧山城町と旧西祖谷山村を連 絡する林道であり、災害等の緊急時には国道32号線の迂回路と しても利用できるとともに、地元からの要望は非常に強い。	継続
10	"	岩罅谷線 岩罅谷線	那賀町	1,317	4,040	S62	22	⑤	工事進捗率 72 用地進捗率 1	林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で 林道の担う役割は大きい。また、旧木沢村と旧木頭村を最短距離 で連絡する林道であり、災害等の緊急時には迂回路としても利用 できるとともに、地元からの要望は非常に強い。	継続
11	"	長安海川線 長安海川線	那賀町	1,964	4,982	S62	22	⑤	工事進捗率 66 用地進捗率 1	林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で 林道の担う役割は大きい。また、旧上那賀町大戸地区とは国道19 町海川地区を連絡する林道であり、災害等の緊急時には国道19 3号・195号線の迂回路としても利用できるとともに、地元からの 要望は非常に強い。	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間で経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後10年間で経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後の準備・計画段階で5年間で経過している事業箇所
- ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑤再評価後5年間で経過した時点で継続中の事業箇所

II 平成20年度再評価対象事業一覧表（森林整備事業・県事業）

番号	事業名	路線名	町村名	基本精元 （全体事業・利用区 域面積・延長等）		事業採択	経過 年数	区分	工事進捗 率 （%） 用地進捗 率 （%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等 対心 方針	継続
				全体事業費 百万円	ha						
12	林道開設事業 （森林基幹道）	いんぎやまじせん 生実八重地線	上勝町	4,230	1,301	17,700	S62	⑤	58 58	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等 対心 方針 林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で 林道の担う役割は大きい。また、上勝町生実地区と上勝町八重地 地区を連絡する林道であり、八重地区の災害等の緊急時には迂 回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。	継続
13	"	ひわがやまじせん 白和茶坂瀬線	三好市	6,250	3,342	32,700	H2	⑤	58 —	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等 対心 方針 林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で 林道の担う役割は大きい。また、旧西祖谷山村坂瀬地区と旧東祖 谷山村落合地区を連絡する林道であり、災害等の緊急時には迂回 回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。	継続
14	"	げしはやしだにせ 下高林谷線	那賀町	3,606	677	13,795	H3	⑤	40 —	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等 対心 方針 林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で 林道の担う役割は大きい。また、旧上那賀町下司地区と旧上那賀 町下用地地区を連絡する林道であり、災害等の緊急時には国道1 95号線の迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非 常に強い。	継続
15	"	おつかがらからあきしまる 大川原旭丸線	上勝町 神山村 佐那河内 村	2,905	1,183	16,240	H3	⑤	62 —	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等 対心 方針 林業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮について も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で 林道の担う役割は大きい。また、3町村にまたがる林道であり、 各林道支線と連絡することにより、山林への通勤時間短縮・木材 搬出コスト低減等により、地元からの要望は非常に強い。	継続
16	"	かじまうちだせん 樫山内田線	美馬市	4,822	1,868	22,412	H4	⑤	52 —	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等 対心 方針 林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労 働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林 の公益的機能の向上が求められている。こうした状況下で、高性 能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図る ため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続
17	"	いんぎせん 石吹越線	海陽町	4,682	2,557	25,500	H4	⑤	65 —	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等 対心 方針 林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労 働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林 の公益的機能の向上が求められている。こうした状況下で、高性 能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図る ため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑤再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

II 平成20年度再評価対象事業一覧表（森林整備事業・県事業）

番号	事業名	路線名	町村名	基本縮元		事業採択	経過年数	区分	工事進捗率(%) 用地進捗率(%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費利用区域面積 百万円	延長等 ha						
18	林道開設事業 (森林基幹道)	谷山霧越線 たにやまぎりこさげせん 谷山霧越線	那賀町 海陽町	2,948	741	12,800	H4	⑤	17	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で林道の担う役割は大きい。また、3町の町境を中心とし国道193号線と県道日和佐・上那賀線を連絡する林道であるため、地元からの要望は非常に強い。	継続
19	"	横谷山線 こいしやまやません 横谷山線	那賀町	4,050	1,075	18,100	H5	⑤	16	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で林道の担う役割は大きい。また、国道193号線からの要望は非常に強い。	継続
20	"	田野内伏立線 たのうちのふたてせん 田野内伏立線	美馬市	4,946	1,331	19,850	H5	⑤	16	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で林道の担う役割は大きい。また、檜原地区の緊急時の迂回路となることから、地元からの要望は非常に強い。	継続
21	"	星越神戸丸線 ほしごえくべまるせん 星越神戸丸線	那賀町	4,358	950	16,200	H5	⑤	16	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化、労働不足等、森林の適正管理を行う上で林道の担う役割は大きい。また、旧上那賀町と旧木頭村の町境を中心とした連絡道であり、道路網の幹線となることから、地元からの要望は非常に強い。	継続
22	"	下名栗山線 しもなぶらあかやません 下名栗山線	三好市	4,500	1,674	21,900	H5	⑤	16	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度度による労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められている。こうした状況下で、高性能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図るため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間で経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後10年間で経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後の準備・計画段階で5年間で経過している事業箇所
- ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑤再評価後5年間で経過した時点で継続中の事業箇所

II 平成20年度再評価対象事業一覧表（治山事業・県事業）

番号	事業名	路線名	町村名	基本積元		事業・利用区		事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率(%) 用地進捗率(%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	区域面積 ha	延長 m	延長等						
23	地すべり防止事業	奥ノ井	三好市	1,080	101	—		H1	20	⑤	事業費進捗率 90 用地進捗率 —	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等 平成16年度の台風豪雨の影響により、新たな箇所において、地すべり活動による沈下や崩壊等が発生し、区域内の人家、農地、市道に被害を及ぼしている。本事業の実施により、地すべりに起因する被害を防止し、地域住民の生活環境の安定を図ることが重要となっている。地元からは早期完了の要望が強い。	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑤再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

II 平成20年度再評価対象事業一覧表（水産事業・県事業）

番号	事業名	漁港名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・工種等）		事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	工種・数量						
24	海岸保全施設整備 事業 (高潮対策)	つばきとりのりまきこうかいがわ 榑泊港海岸	阿南市榑泊町	5,100	護岸 L=1,314m	S61	23	⑤	工事63% 用地1%	当地区は、阿南市東部の榑泊半島北側の榑泊町に位置しており、急峻な山が海に迫る狭隘な土地に人家が密集している。また、津波の影響を受けやすいV字型湾にあり、近年各地で高潮や津波による被害が頻発していることから、地元住民からは、事業の早期完成を強く求められているところである。 当地区の既設護岸は、老朽化が著しいため、緊急性及び重要性の高い箇所から順次事業を実施し、部分的に防護効果を上げているところである。 平成35年度完了予定。	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑤再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所



II 平成20年度再評価対象事業一覧表（森林整備事業・市町村事業）

番号	事業名	路線名	町村名	基本緒元		事業採択	経過 年数	区分	工事進捗 率(%) 用地進捗 率(%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応 方針
				百万円	ha						
1	林道開設事業 (森林管理道)	くまがねのこまがね 棉根地中ノ郷線	吉野川市	776	290	H3	18	⑤	工事進捗率 85% 用地進捗率 1%	事業を取り巻く環境ならびに森林の公益的機能の発揮についても林業就労者の高齢化・労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られ、森林の公益的機能の向上が求められている。こうした状況下で、高性能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図るため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続
2	"	さすまねしんがみよ 葛又神朗線	上勝町	800	331	H8	13	⑤	工事進捗率 56% 用地進捗率 1%	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られ、森林の公益的機能の向上が求められている。こうした状況下で、高性能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図るため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続
3	"	なほま 長安線	那賀町	806	175	H5	16	⑤	工事進捗率 75% 用地進捗率 1%	路網整備の遅れにより、豊富な森林資源の活用に支障をきたしている現状であり、林道開設により森林施業を行い効率的な林業経営や適切な森林管理を図る。また、拝宮線と接続する事により、集落間の交通が図られるばかりか、国道195号線の迂回路となるため、地元からの要望は非常に強い。	継続
4	"	たていしだにせん 立石谷線	那賀町	798	304	H10	11	②	工事進捗率 46% 用地進捗率 1%	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められている。こうした状況下で、高性能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図るため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続
5	"	おおとこのせん 大藤古野線	東みよし町	1,459	481	H11	10	②	工事進捗率 46% 用地進捗率 1%	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働強度による労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られるなか、森林の公益的機能の向上が求められている。こうした状況下で、高性能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図るため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑤再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

II 平成20年度再評価対象事業一覧表 (県土整備部関係事業・県及び市町村事業)

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費 C(百万円)等	事業採択 年度	経過 年数	区分	進捗率(%) 事業費 用地	対応 方針
1	道路改築事業	一般国道193号 (海川谷(ハス))	那賀町	L=2,000m, W=5.5(7.0)m C=4,600百万円	H11	10	②	29	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当該工区は幅員狭小、線形不良区間が連続し、異常気象時通行規制区 間となっているなど、交通の隘路となっている。当該事業により安全 で円滑な交通が確保され、観光事業等の地域振興に大きく寄与する。 平成26年度の完了を目指している。
2	道路改築事業	一般国道193号 (智ノ瀬(チノセ))	海陽町	L=1,600m, W=6.0(8.0)m C=2,700百万円	H11	10	②	63	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当該工区は幅員狭小、線形不良区間が連続し、異常気象時通行規制区 間となっているなど、交通の隘路となっている。当該事業により安全 で円滑な交通が確保され、観光事業等の地域振興に大きく寄与する。 平成24年度の完了を目指している。
3	道路改築事業	一般国道195号 (出合大戸(イッパ))	那賀町	L=2,200m, W=6.0(8.0)m C=7,200百万円	H6	15	⑤	76	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当該工区は幅員狭小、線形不良区間が連続し、異常気象時通行規制区 間となっているなど、交通の隘路となっている。当該事業により安全 で円滑な交通が確保され、観光事業等の地域振興に大きく寄与する。 平成24年度の完了を目指している。
4	道路改築事業	一般国道438号 (上八万(カハス))	徳島市～ 佐那河内村	L=5,500m, W=6.5(14.0)m C=10,500百万円	S63	21	⑤	61	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当該工区は幅員狭小、線形不良区間が連続し、異常気象時通行規制区 間となっているなど、交通の隘路となっている。当該事業により安全 で円滑な交通が確保され、観光事業等の地域振興に大きく寄与する。 平成27年度の完了を目指している。
5	道路改築事業	一般国道438号 (桑遠(カサト))	美馬市	L=4,400m, W=6.0(10.0)m C=7,993百万円	S60	24	⑤	97	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当該工区は幅員狭小、線形不良区間が連続し、異常気象時通行規制区 間となっているなど、交通の隘路となっている。当該事業により安全 で円滑な交通が確保され、観光事業等の地域振興に大きく寄与する。 平成21年度の完了を目指している。
6	道路改築事業	一般国道492号 (穴吹(アナフ))	美馬市	L=1,500m, W=6.5(15.0)m C=3,800百万円	H6	15	⑤	90	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当該工区は幅員狭小、線形不良区間が連続し、異常気象時通行規制区 間となっているなど、交通の隘路となっている。当該事業により安全 で円滑な交通が確保され、観光事業等の地域振興に大きく寄与する。 平成21年度の完了を目指している。
7	道路改築事業	(主) 徳島環状線 川内工区	徳島市	L=4,200m, W=14.0(30.0)m C=30,000百万円	H11	10	②	57	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当該工区は、「徳島環状線」の東部分である徳島東環状線を構成す る区間であり、国道11号、55号の交通を分散させ、交通の円滑化を図 るべく事業を実施している。平成23年度に国道11号までの供用を目指 している。
8	道路改築事業	(一) 宮川内牛島停車場線 西条～牛島	阿波市～ 吉野川市	L=3,200m, W=6.0(20.0)m C=15,200百万円	H6	15	⑤	97	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当該路線は、徳島吉野線と国道192号を接続し、吉野川南北の地域を結 ぶ重要な路線であり緊急輸送道路にも指定されている。当事業は、吉 野川中流域の交通促進、通勤通学、緊急車両等の定時制安全性の確保 を図るものである。平成22年度の供用を目指している。
9	街路事業	(郡) 東吉野町北沖洲線	徳島市	L=2,882m, W=21.0m C=13,200百万円	S56	28	⑤	92	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当該路線は、一般国道11号吉野川大橋南詰めと徳島市北沖洲の中央卸売 市場前を結ぶ道路であり、一般国道11号の渋滞対策やマリニピア沖洲 及び徳島東(仮駅)へのアクセスとしての機能を有する。なお、平成 23年度の供用を目指している。
10	街路事業	(郡) 庄名東線	徳島市	L=950m, W=16m C=2,440百万円	H11	10	②	90	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当該路線は、国道192号や県道新湊線から県営名東東園地へのア クセス強化を図るほか、狭隘な市道のみ周辺の周辺地区における、交通の 円滑化や自転車歩行者の安全性の向上を図ることを目的に整備を進め ている。なお、平成21年度の供用を目指している。
11	広域基幹河川改修事業	尾尾川	徳島市 石井町 鳴島町	L=24,100m 河道拡幅 C=23,490百万円	S34	50	⑤	81	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 当河川の流域には、徳島市、石井町、鳴島町の市街化区域を含んで おり、洪水による被害が甚大なものとなる。現在までに全体改修延長 24.1kmのうち2箇所(約15km)の整備が概成しており、一 定の被害軽減効果が発現している。しかし、全体計画延長が長く、一 相当の未改修区間が残っていることから、早期改修に対する地元から の要望が強い。
12	広域基幹河川改修事業	園瀬川	徳島市	L=7,515m 築堤 C=16,500百万円	S21	63	⑤	85	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 改修計画区間上流部の築堤区間(川北地区、川西地区)において は、流下能力が不足しているため、度々浸水被害にみまわれており、 被害軽減のため早期改修が望まれている。また、流域内では徳島南環 状道路の整備が進められているため事業調整を行っていないが早期に無堤 区間の解消を図る必要がある。現在までに全体計画延長7.6kmのうち 下流から約4.3kmが概成しており、早期改修の要望が強い。
13	広域基幹河川改修事業	多々羅川	徳島市	L=4,560m 河道拡幅 C=7,000百万円	S54	30	⑤	71	事業を巡る社会経済情勢・地況状況の変化等 下流から約3.1kmが完成しており、浸水被害の軽減が図られている 。しかし、上流域においては、以前として浸水被害が発生している 状況であり、早期改修の要望が強い。 平成29年度の完成を目指している。

① 事業採択後5年目で未着工の事業箇所  
② 事業採択後10年目で継続中の事業箇所  
③ 事業採択前の準備・計画段階で5年間で経過している事業箇所  
④ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要なる事業箇所  
⑤ 再評価後5年間で経過し継続中の事業箇所  
⑥ 事後評価対象箇所  
1/4

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費C(百万円)等	事業採択 年度	経過 年数	区分	進捗率(%) 事業費 用地	対応 方針
14	広城基幹河川改修事業	桑野川	阿南市	L=9,750m 河道拡幅 C=14,000百万円	S31	53	⑤	89 97	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等 平成11年の洪水を契機として改修が促進され、全体計画延長約 9.8kmのうち約9kmが概成している。主な残工事としては、東重友橋上 流部の護岸整備及び改修計画区間の河床掘削が残っており、下流直轄 管理区間の流下能力向上にあわせて実施する。早期事業完成につい て、地元から強い要望がある。 平成23年度の完成を目指している。
15	広城基幹河川改修事業	那賀川	那賀町	L=2,300m 築堤 C=2,635百万円	S48	36	⑤	57 13	これまで、本川のはん瀬防止に向け、堤防の整備を実施してきた が、台風等による洪水時には、本川のはん瀬と支川からの内水はん瀬 が相まって浸水被害が起これっており、本川と支川の合流点処理が残さ れた課題となっている。このため、平成19年6月策定の那賀川水系河 川整備計画に基づき、浸水被害を軽減するため、浸水防止施設等の整 備を行う必要がある。 平成23年度の完成を目指している。
16	広城基幹河川改修事業	藤義川	鳴門市	L=7,100m 河道拡幅 C=12,300百万円	H1	20	⑤	82 91	全体計画延長7.1km(橋梁川3km、新池川4.1km)については概成し ており、流域の浸水被害の軽減が図られている。残工事としては、新 池川において河積を阻害している橋梁の架け替え及び橋梁橋下流の淤 積部改修のみとなっており、さらなる浸水被害の軽減を図るため早期 の改修が必要となっている。 平成25年度の完成を目指している。
17	広城基幹河川改修事業	勝浦川	徳島市 小松島市	L=8,200m 築堤 C=6,810百万円	S11	73	⑤	70 98	全体計画延長8.2kmの築堤については概成しており、流域の浸水被害 軽減が図られている。残工事としては、主に河積を阻害している田 圃の改築のみとなっており、早期事業完成に向けて、地元からの要 望も強い。 平成29年度の完成を目指している。
18	広城基幹河川改修事業	岡川	阿南市	L=3,400m 築堤 C=4,000百万円	S46	38	⑤	34 32	全体改修延長3.4kmのうち文化橋上流の350mについて概成してい る。上流部においては宅地化が進んでいる。未改修区間の河道は狭 く、浸水被害が多発しており、地元から浸水被害軽減に対する改修要 望が強い。 平成35年度の完成を目指している。
19	総合流域防災事業	田野川	小松島市	L=4,480m 河道拡幅 C=7,000百万円	S52	32	⑤	95 99	全体計画延長4.5kmのうち約4.2kmが完成している。流域内には人 家を抱えており、近年災害が発生し、事業完成に向けて地元から強い 改修要望もあり、新直轄関連と進捗を合わせることが必要であり平成25年度 の完成を目指している。
20	総合流域防災事業	立江川	小松島市	L=2,439m 河道拡幅 C=3,300百万円	S63	21	⑤	77 70	これまでで下流から約1.6kmの整備が概成しており、特に果樹に配 慮した護岸整備については、地元の評価が高い。近年災害が発生し、 地元改修要望が強く今後事業完了に向けて上流未改修区間の浸水被害 軽減のため、整備促進を図る。平成25年度の完成を目指している。
21	総合流域防災事業	はたる川	吉野川市	L=3,280m 河道拡幅 C=4,010百万円	S49	35	⑤	67 86	これまでで下流から約1.7kmの整備が概成しており、流域内には商 業地、人家を抱えており、平成16年23号台風において浸水被害が発生 し、地元改修要望(自主防災組織)が強く今後事業完了に向けて上流未 改修区間の浸水被害軽減のため、整備促進を図る。平成30年度の完成 を目指している。
22	総合流域防災事業	筋川	藍住町	L=1,474m 河道拡幅 C=2,490百万円	S56	28	⑤	97 99	これまでで下流から約1.2kmの整備が概成しており、流域内には商 業地、人家を抱えており、平成16年23号台風において浸水被害が発生 し、事業完成に向けて地元改修要望があり、今後事業完了に向けて上 流未改修区間の浸水被害軽減のため、整備促進を図る。平成22年度の 完成を目指している。
23	総合流域防災事業	大津田川	阿南市	L=1,350m 河道拡幅 C=1,000百万円	S45	39	⑤	54 83	これまでで下流から約300mの整備が概成しており、流域内には人家 を抱えており、平成10年、11年において浸水被害が発生し事業完成に 向けて地元改修要望がある。下流桑野川合流点付近には、直轄ポンプ 場が完成したことから、今後事業完了に向けて上流未改修区間の浸水 被害軽減のため、整備促進を図る。平成29年度完成を目指している。
24	総合流域防災事業	福井川	阿南市	L=6,500m 築堤 C=6,500百万円	S56	28	⑤	70 52	これまでで福井ダム(平成7年度)及び下流から約1.8kmの整備が概成 しており、流域内には商業地、人家を抱えており、平成15年度及び平 成20年度においては浸水被害が発生し、事業完成に向けて地元改修要 望がある。今後事業完了に向けて上流未改修区間の浸水被害軽減のた め、整備促進を図る。平成29年度の完成を目指している。

① 事業採択後5年目で未着工の事業箇所  
 ② 事業採択後10年目で継続中の事業箇所  
 ③ 事業採択前の準備・計画段階で5年間で経過している事業箇所  
 ④ その他、社会経済情勢の変化等により早直しが必要な事業箇所  
 ⑤ 再評価後5年間を経過し継続中の事業箇所(下水道は10年)  
 ⑥ 事後評価対象箇所  
 2/4

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基 本 諸 元 全体事業費 C(百万円)等	事業採択 年度	経過 年数	区分	進捗率(%) 事業費	用地	対応 方針
25	総合流域防災事業	美波川 英鶴川	美波町	L=1,900m 築堤 C=2,200百万円	S44	40	⑤	91	97	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等 これまでに下流から約1,150mの整備が概成しており、流域内には人 家を抱えており、平成20年度においては浸水被害が2度発生し、事業 完成に向けて地元改修要望がある。今後事業完了に向けて上流未改修 区間の浸水被害軽減のため、整備促進を図る。また、残用地の用途も たつたことから平成23年度完成を目指している。
26	総合流域防災事業	美波川	海陽町	L=3,560m 築堤 C=2,150百万円	S37	47	⑤	74	82	これまでに下流から約3,000mの整備が概成しており、流域内には人 家を抱えており、平成18年度においては浸水被害が発生し、事業完成 に向けて地元改修要望がある。今後事業完了に向けて上流未改修区間 の浸水被害軽減のため、整備促進を図る。平成27年度完成を目指して いる。
27	海岸侵食対策	鳴門海岸	鳴門市	L=3.6km 人工リーフ7基 離岸堤1,029m 養浜工59,000m <sup>3</sup> C=3,519百万円	S47	37	⑤	93	-	海岸線沿いにリーゾン開発が進行している。 離岸堤と人工リーフ施工箇所での越波の危険性が低減され、海岸侵食が 止まり砂浜は復元しつつあるため、残る養浜事業については不施工と し、今後経過を観測する。
28	海岸侵食対策	今津坂野海岸	小松島市 阿南市	大規模突堤21基 緩傾斜堤防L=1,248m C=11,000百万円	S36	48	⑤	68	-	海岸背後地域の都市化が進行。(国道55号BPの供用に伴う開発) 大規模突堤と消波ブロックにより越波の危険性が低減され、海岸侵食 の進行が抑えられている。 平成42年度完成を目指している。
29	海岸侵食対策	見能林海岸	阿南市	L=0.6km 人工リーフ3基 養浜工16,000m <sup>3</sup> C=1,289百万円	H11	10	②	77	-	海岸背後地域の都市化が進行。(国道55号BPの供用に伴う開発) 人工リーフ施工箇所での越波の危険性が低減され、海岸侵食が止まり砂 浜は復元しつつあるため、残る養浜事業については不施工とし、今後 経過を観測する。
30	地すべり対策事業	有瀬地すべり防止区域	三好市	構法「リソグ」工L=13,898m 水路工L=2,506m C=1,800百万円	S46	38	⑤	97	100	当区域は、古くから活発な地すべり活動を繰り返してきた。区域内に は地域住民の拠点となる避難所や避難路が存在しており、生活の安全 確保のため、S46年度から対策工を進めてきたが、現在も一部の「リソグ」 で顕著な動きがあるため、引き続き事業を推進していく。平成22年度 の完成を目指している。
31	地すべり対策事業	加茂山地すべり防止区域	東みよし町	構法「リソグ」工L=23,500m 水路工L=1,350m アカー工N=34本 C=1,043百万円	S62	22	⑤	95	100	当地区の斜面には人家が多く、広範囲で斜面の耕作が行われ、地区中 央には小学校、幼稚園がある。このため、地すべりが発生すると被害 は大きく地域生活に多大な影響を与えるため、昭和62年から排水ボー リング工、地表排水工及びアカー工等対策工が行われている。平成 21年度の完成を目指している。
32	流域下水道事業	旧吉野川流域下水道	鳴門市 他 1市4町	計画処理区域 約490ha C=39,000百万円	H11	10	②	74	100	鳴門市他1市4町における公共用水確の水質保全、生活環境の改善等 を図るため、県が幹線管渠、終末処理場を整備している。現在、幹線 管渠は約9割が完成、平成18年度からは終末処理場の工事にも着手し ており、平成20年度末の一部供用開始を目指している。第1期計画に 係る工事については平成21年度の完工を予定している。
33	港湾改修事業	徳島小松島港 赤石地区 (-7.5m、-5.5m岸壁)	小松島市	岸壁(-7.5m) 1 <sup>号</sup> -A 130m 岸壁(-5.5m) 2 <sup>号</sup> -A 200m ふ頭用地 A=5.5ha C=8,236百万円	H6	15	⑤	99	100	本港では大型岸壁不足から船舶の滞りや積荷調整等非効率な輸送体 系を余儀なくされており、これを解消するとともに災害発生時の緊急 輸送を確保するため、両岸壁を整備する国内物流ターミナルを整備す るものである。なお、平成22年度の供用を目指している。
34	港湾改修事業	徳島小松島港 海洲地区 臨海道路沖洲(外)線	徳島市	L=1,410m, W=13.0(21.0)m C=3,466百万円	H6	15	⑤	79	100	市街地からマリニピア沖洲へと連絡する区間であり、現在ある沖洲 (外)中央線及び沖洲(外)南線の交通を分散させ、交通の円滑化を図る ために事業を実施している。平成20年に一部の暫定供用を目指してい る。なお、平成25年度の完成を目指している。

④ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所  
 ⑤ 再評価後5年間で継続中の事業箇所(下水道は10年)  
 ⑥ 事後評価対象箇所  
 3/4

① 事業採択後5年目で未着工の事業箇所  
 ② 事業採択後10年目で継続中の事業箇所  
 ③ 事業採択前の準備・計画段階で5年間で経過している事業箇所

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基 本 諸 元 全体事業費 C(百万円)等	事業採択 年度	経過 年数	区分	進捗率(%) 事業費	用地	対応 方針
S1	都市公園事業	ドイツ村公園	鳴門市	A=54.3ha C=2,999百万円	S51	33	⑤	79	71	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等 ドイツ村、子供広場、遊歩道等の9.9haを使用しており、鳴門市の代 表的な観光施設として、地域の活性化に寄与している。今後は、華誕 樹の森及び賀川豊彦記念館周辺を整備し、平成40年度の供用を目指し ている。
S2	公共下水道事業	徳島市公共下水道事業 (中央処理区)	徳島市	処理区域面積A=993ha 幹線管渠延長L=27,850m C=73,244百万円	S23	61	⑤	93	94	徳島市の公共下水道事業での、現行認可計画における面積整備率が 97%であり、今後も未普及地区解消のため、処理区域の拡大を図る。
S3	公共下水道事業	徳島市公共下水道事業 (北都処理区)	徳島市	処理区域面積A=1,803ha 幹線管渠延長L=30,240m C=178,146百万円	S23	61	⑤	83	83	徳島市の公共下水道事業での、現行認可計画における面積整備率が 46%であり、今後も未普及地区解消のため、処理区域の拡大を図る。
S4	公共下水道事業	徳島市都市下水道事業 (田宮北都市下水道)	徳島市	処理区域面積A=30ha 幹線管渠延長L=1,940m C=2,300百万円	S61	23	⑤	87	100	徳島市の都市下水道事業は、現在7箇所で行っており、現行事 業箇所での面積整備率は79%となっている。今後は浸水被害の緩和を めざし、整備促進を図る。
S5	公共下水道事業	徳島市都市下水道事業 (田宮西都市下水道)	徳島市	処理区域面積A=98ha 幹線管渠延長L=5,670m C=4,682百万円	S61	23	⑤	65	100	徳島市の都市下水道事業は、現在7箇所で行っており、現行事 業箇所での面積整備率は52%となっている。今後は浸水被害の緩和を めざし、整備促進を図る。
S6	公共下水道事業	徳島市都市下水道事業 (大正東都市下水道)	徳島市	処理区域面積A=107ha 幹線管渠延長L=3,770m C=3,511百万円	S51	33	⑤	94	100	徳島市の都市下水道事業は、現在7箇所で行っており、現行事 業箇所での面積整備率は83%となっている。今後は浸水被害の緩和を めざし、整備促進を図る。
S7	公共下水道事業	徳島市都市下水道事業 (大正西都市下水道)	徳島市	処理区域面積A=54ha 幹線管渠延長L=2,510m C=3,000百万円	S57	27	⑤	34	0	徳島市の都市下水道事業は、現在7箇所で行っており、現行事 業箇所での面積整備率は71%となっている。今後は浸水被害の緩和を めざし、整備促進を図る。
S8	公共下水道事業	徳島市都市下水道事業 (国府西都市下水道)	徳島市	処理区域面積A=483ha 幹線管渠延長L=9,680m C=3,190百万円	S54	30	⑤	38	100	徳島市の都市下水道事業は、現在7箇所で行っており、現行事 業箇所での面積整備率は23%となっている。今後は浸水被害の緩和を めざし、整備促進を図る。
S9	公共下水道事業	徳島市都市下水道事業 (国府東都市下水道)	徳島市	処理区域面積A=338ha 幹線管渠延長L=7,420m C=2,852百万円	S54	30	⑤	56	100	徳島市の都市下水道事業は、現在7箇所で行っており、現行事 業箇所での面積整備率は37%となっている。今後は浸水被害の緩和を めざし、整備促進を図る。
S10	公共下水道事業	徳島市都市下水道事業 (八万南都市下水道)	徳島市	処理区域面積A=176ha 幹線管渠延長L=7,220m C=2,800百万円	S56	28	⑤	62	100	徳島市の都市下水道事業は、現在7箇所で行っており、現行事 業箇所での面積整備率は43%となっている。今後は浸水被害の緩和を めざし、整備促進を図る。
S11	公共下水道事業	阿南市公共下水道事業 (打繩川処理区)	阿南市	処理区域面積A=676ha 幹線管渠延長L=15,210m C=26,571百万円	H11	10	②	67	100	阿南市の公共下水道は、平成11年に事業認可を受け、平成22年度末の 供用開始に向けて現在鋭意施工中であり、住民からの問い合わせ等も 多く、公共下水道に対する関心が高まっている。
S12	公共下水道事業	阿南市都市下水道事業 (或山都市下水道)	阿南市	処理区域面積A=48ha 幹線管渠延長L=720m C=1,930百万円	S53	31	⑤	81	100	或山都市下水道は、昭和53年度に事業認可を受け、浸水被害解消のた め整備促進を図り、現行認可期間における整備率は、80%を越えてい るが、55号バイパスがこの提供利用した地域でもあり、住民の排水意識 も高く、地元協議会からも早期整備を望まれている。なお、平成25年 度の事業完了を目指している。
S13	公共下水道事業	吉野川市公共下水道事業 (中央処理区)	吉野川市 (旧鴨島町)	処理区域面積A=993ha 幹線管渠延長L=20,760m C=28,166百万円	S51	33	⑤	89	100	吉野川市の公共下水道は、旧鴨島町により昭和51年度に事業認可を受 け、現行認可計画における整備率は約90%であり、住民の下水道に対 する意識も高く、未整備地域の住民からは早期の下水道整備の要望が ある。なお、平成25年度までに認可区域内の完了を目指している。
S14	公共下水道事業	美波町公共下水道事業 (日和佐処理区)	美波町 (旧日和佐 町)	処理区域面積A=65ha 幹線管渠延長L=1,820m C=7,077百万円	H11	10	②	81	100	美波町の公共下水道事業は旧日和佐町が事業主体となり平成11年に事 業認可を受け、現行認可計画における整備率は約73%であり、住民の 環境意識も高まり、管渠整備の要望がある。今後、平成24年度を目標 に現在の認可区域の完了を目指しておるが経費、工法等の省費用化を 図り事業期間の短縮に努める。

④ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所  
 ⑤ 再評価後5年間で継続中の事業箇所(下水道は10年)  
 ⑥ 事後評価対象箇所

① 事業採択後5年目で未着工の事業箇所  
 ② 事業採択後10年目で継続中の事業箇所  
 ③ 事業採択前の準備・計画段階で5年間で経過している事業箇所

### Ⅲ 徳島県公共事業評価委員会名簿

氏 名	職 名
井 関 佳 穂 理	公 認 会 計 士
上 月 康 則	徳島大学大学院教授
松 根 美 幸	建 築 家
眞 山 眞 理	四国大学生生活科学部教授
○ 村 上 仁 士	徳島大学名誉教授
山 中 英 生	徳島大学大学院教授
横 畠 康 吉	四国大学経営情報学部長

(○は会長、五十音順、敬称略)